

報道機関各位

門司区東郷中学校におけるトイレの天井点検口パネルの落下について

1 概要

令和5年9月12日（火）12時50分頃、東郷中学校（門司区）校舎の1階女子トイレの天井点検口が開き、中のパネル（57×57cm, 1.7kg）が2つに割れて落下して、そのうちの1つのパネル片（約540g）が生徒①の腕に当たった。同生徒は擦り傷を負い、保健室で手当てを受けた後に帰宅した。

また、別の生徒②が、開いた点検口の金属枠を触り、指に切り傷を負った。現在、点検口にベニヤ板を充て、開かないように留め具をかけている。

2 落下の原因

詳細な原因は調査中。

3 今後の対応

同中学校の天井に設置されている全ての点検口について、同様の事故が発生するおそれがないか、確認する。

他の学校についても、速やかに学校による目視点検を実施し、必要に応じて業者による点検及び改修を行う。

4 けが人の状況（2名）

- ① 左二の腕の擦り傷。保健室で手当てを受けて帰宅。
- ② 左手薬指先の切り傷。保健室で手当てを受けて帰宅。

5 北九州市立東郷中学校について

- (1) 所在地 北九州市門司区黒川西1丁目9番1号
- (2) 児童・生徒数 58名 3学級
- (3) 校舎建築時期 昭和57年度

6 添付資料

- ・天井点検口と落下したパネルの写真

【問い合わせ先】

北九州市教育委員会学校支援部施設課

担当：松尾、篠原 TEL093-582-2361

【点検口の状況】

通常の状態



今回開いた状態



【落下したパネル】



※生徒に当たったもの
57×20cm, 厚さ5mm,
約540g
材質は、耐水性のある内装
材。ケイ酸カルシウム板
(いわゆるケイカル板)

全体では57×57cm
1.7kg